

島津美宙さんが次世代放射線シンポジウム 2019 で優秀研究賞を受賞

原子力研究所で研究に取り組んでいる島津美宙さん（エレクトロニクス系工学専攻・博士前期課程2年）が、8月8-9日に首都大学東京荒川キャンパスで開催された次世代放射線シンポジウム2019（第31回放射線夏の学校）（主催：応用物理学会放射線分科会）で「優秀研究賞」を受賞しました。研究発表の題目は「CsIシンチレータの自己放射化を用いたPu-Be中性子照射場の熱中性子束評価」です。日ごろの研究成果をまとめてポスターセッションで発表し、31件の発表の中から選ばれて受賞となりました。

